

**37** アルゼンチンレコンキスタ川流域
衛生環境改善事業洪水被害の軽減
地域住民の衛生環境の改善に貢献

承諾額／実行額	81億5,000万円／47億3,000万円
借款契約調印	1995年3月
借款契約条件	金利5.0%、返済25年(うち据置7年)、一般アンタイド
貸付完了	2002年8月
実施機関	ブレノスアイレス州政府



本事業の目的

レコンキスタ川流域において、下水処理施設の整備、廃水管理等の体制強化、洪水制御を行うことにより、河川浄化、洪水被害の軽減を図り、地域住民の衛生環境等の改善に寄与することを目的とする。

本事業実施による効果(有効性・インパクト) **評価b**

本事業における洪水制御により、2001年以降、洪水の被害が拡大していないことが衛星写真で確認されている。受益者調査(レコンキスタ川流域7地区の住民21人対象)では、回答者全員から本事業実施により洪水被害が軽減したとの声が寄せられている。河川浄化については、アルゼンチンの経済危機に起因する同国の債務問題を背景として、JBICは貸付実行停止を余儀なくされ、それにより下水処理場建設が中止されたため、事業効果が限定的なものとなっている。本事業において河底浚渫工事等が実施されることにより、2002年度においては米州開発銀行(IDB)の設定していた水質改善にかかる定量目標を達成するといった水準まで河川浄化が図られていたものの、2005年度には、河川の水質悪化が確認されており、河川の水質について今後引き続きモニタリングする必要がある。よって本事業の実施により一定の効果発現がみられ、有効性は中程度である。

本事業実施と国家計画等との整合性(妥当性) **評価a**

本事業の実施は審査時および事後評価時ともに国家計画等と合致しており、事業実施の妥当性は極めて高い。審査時で



本事業により整備されたレコンキスタ川流域

は、同国中期開発計画において環境保全が重視されており、本事業はパイロット事業として優先度が高かった。事後評価時では、同国が策定したMillennium Development Goalsにて環境保全、衛生環境の改善が課題として掲げられている。

事業実施の経済性(効率性) **評価b**

本事業は、事業費は計画を大幅に下回ったものの(計画比58%)、期間が計画を大幅に上回ったため(計画比156%)、効率性についての評価は中程度と判断される。事業遅延の主な要因としては、維持管理機関の設立が遅れたこと、コンサルタント雇用に時間を要したこと等が挙げられる。事業費減少については、当初計画されていた下水処理場建設が中止されたこと等がその要因である。

今後の展望(持続性) **評価b**

事業はその完成後、設立された維持管理機関が十分に機能していないという問題が確認されているものの、事業実施に携わった機関が維持管理業務を担っており、本事業の持続性は概ね問題ないと判断される。

結論と教訓・提言

以上により、本事業の評価は概ね高いといえる。教訓としては、協調融資先であるIDBと密接に連携して事業監理を行う必要があること、実施機関に対する提言としては、同国経済危機後における下水処理施設の優先的整備、維持管理機関の運営体制強化、事業効果の定量的計測が挙げられる。

開発途上国専門家の意見

本事業は同国の洪水制御に一定程度貢献したと評価される。今後経済危機の影響により未完成となった下水処理施設建設や公害防止プログラム等の実施が住民の衛生環境改善を図るうえで課題となる。

専門家の氏名： Mr. Alieto Aldo Guadagni (国際機関)
カリフォルニア大学博士(経済)。エコノミスト。水資源・エネルギー大臣、国際経済公共事業サービス省大臣、国際経済関係大臣、鉱工業・商業大臣、ブラジル大使、世界銀行理事等を歴任し、現在、テラ大学。専門は国際経済。